



尚徳福祉会 末長こぐま保育園 ばなな組

園庭のイチョウの木の葉も色づき始め秋の深まりを感じます。ひらひらと舞い落ちる葉を眺めて楽しんだり、落ち葉を集めたりと移りゆく季節の変わり目を、子どもたちも肌で感じ取っているようです。

朝晩と冷え込むようにもなり厚着をしがちですが、子どもたちは元々体温が高い上に、よく動くので大人が思っている以上に体温が上がってしまいます。なるべく薄着で過ごせるといいですね。



### 自分でお着替え、うれしいな♪

Tシャツやズボンの着脱の仕方が段々と分かってきた子ども達。着替えへの意欲が高まっています。ズボンはきれいに広げて床におくと、自分で持って足を通しています。お尻の上まで上げるのが難しいことも多く、「あれれ？」と困り顔で保育者のところへきます。以前は大きな声でアピールしていた子も「できない」「やって」「手伝って」などと言葉で表現できることが増えました。保育者が少しだけズボンをあげると「できた！」と誇らしげに目を合わせてくれます。自分でできたという喜びは自己肯定感に繋がり、何か困ったときに頑張ろうとする力になります。小さな「できた！」を積み重ねていきたいですね。

長袖や長ズボンに切り替わると袖を通すことが難しくなってきます。袖の太さにゆとりのある服を選んであげられるといいですね♪



### 秋の自然に触れよう

涼しくなったので、戸外活動を存分に楽しんでいます。公園へ行くと、落ち葉を拾ったりエノコログサを摘んだりして自然に触れることを喜ぶ姿が見られます。また、空を見上げてトンボを見つけ「トンボのメガネは～♪」と一人が歌いだすとお友だちもそれに合わせて大合唱、ということも♪

手繋ぎ歩きの機会も多く取り、長い距離を歩けるようになってきました。保育者とだけではなくお友だちと手を繋ぐことも喜び、時々よろけたり躓いたりしながらも「にぎにぎギュー～♪」と言いながら歩いています。

是非、ご家庭でお出かけの際も手を繋いで歩く機会を増やしていただけたらと思います♪



## お願い



- 肌寒い日がありますので外遊び用の上着をご用意ください。
    - ☆厚過ぎず、フードのない活動しやすいもの
    - ☆自分で着脱しやすいチャック式のもの
  - 廊下にカゴを用意します。個人マークのついたゴムを巻いて入れておいてください。
  - 外に出る機会が増えます。靴のサイズを再確認してください。
    - ☆大きすぎる靴は転びやすく危険です。
    - ☆小さい靴は指先が圧迫されて足の形の変形に繋がります。
- 小まめに確認し、丁度良いサイズの靴をご用意ください。